

《担当者名》姫嶋 瑞穂（葉）

【概要】

最近では、テレビや新聞などで、法に関する話題がよく取り上げられている。しかし、法や法律と聞くと難しくなじみにくいイメージを持ってしまいがちである。人はこの世に生まれてから死ぬまで法や法律と何らかの形で密接に関わっている。『法』とは何か、道徳や倫理といったほかの決まりごととはどう違うのか、我々にとって実は身近な『法』について改めて考えてみる。これが本講義のコンセプトである。初めて法律学を学ぶ学生には法律に対する興味や関心をもってもらうため、憲法・民法・刑法の3法に関する身近な出来事・ふとした疑問を出発点として、法について考察する「法学」を学んでその諸原則を理解するとともに、法的思考（論理的思考）を身に付ける。

【学修目標】

暮らしの中のさまざまな法や社会規範に対して問題解決の道筋をつけることができるよう基礎的知識を習得する。
法と倫理のあり方を考察し、法律学を活用できる。
現代社会における法の役割について、自分の意見を交えながら適切に説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	法の基礎知識 『法』って何？	ガイダンス・社会生活と法との関わり・法的思考（リーガルマインド）について解説する。	姫嶋 瑞穂
2	契約と権利能力	人はいつから権利をもてるのか？自然人の権利能力について考える。	姫嶋 瑞穂
3	日常生活と契約	お金の取引の便利さと怖さを理解するために、クレジットカードや連帯保証人をめぐる法律問題について考える。	姫嶋 瑞穂
4	日常生活とアクシデント Part1	悪徳商法の手口と消費者保護について考える。	姫嶋 瑞穂
5	日常生活とアクシデント Part2	交通事故にあったらどのように対応すべきなのか？交通事故の責任のとり方・とらせ方について考える。	姫嶋 瑞穂
6	憲法の平和主義が危ない！	憲法第9条「平和主義」の解釈論、議論の到達状況について考える。	姫嶋 瑞穂
7	罪と罰のはて	死んでお詫びをするか、生きてお詫びをするか、死刑制度の現状と問題について考える。	姫嶋 瑞穂
8	裁判制度 裁判員に選ばれたら？	裁判員制度の現状について考える。	姫嶋 瑞穂
9	恋愛のルール	デート、結婚の約束、不倫などの恋愛から結婚に至るまでの男女の法律問題について考える。	姫嶋 瑞穂
10	結婚の夢と現実	結婚するとどのような法的効果が生じるのか。結婚の制度について考える。	姫嶋 瑞穂
11	愛が終わるとき 別れの美学	離婚に関わる法的問題と「人生の再出発」というプラスイメージの視点から離婚制度を考える。	姫嶋 瑞穂
12	死後の財産の行方 「磯野家の相続」Part1 ～波平の本心！？波平、遺言をしたためる～	「サザエさん」でお馴染みの磯野家を具体的事例として取り上げ、遺産相続をめぐる問題について考える。	姫嶋 瑞穂
13	死後の財産の行方 「磯野家の相続」Part2 ～波平、死す！波平の磯野家！！～	「サザエさん」でお馴染みの磯野家を具体的事例として取り上げ、遺産相続をめぐる問題について考える。	姫嶋 瑞穂
14	死後の財産の行方 「磯野家の相続」Part3 ～困った！モメた！！涙した！！遺産の行方～	「サザエさん」でお馴染みの磯野家を具体的事例として取り上げ、遺産相続をめぐる問題について考える。	姫嶋 瑞穂
15	発展的学習のために	法に関わる諸問題について検討し、本講義全体の内容について総括する。	姫嶋 瑞穂

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期テスト（100％）

定期テストは授業中に配付する資料の内容を踏まえて出題する。

【教科書】

使用しない。

【参考書】

山田勉・笹田哲男編「新時代の法学・憲法」（建帛社）

【備考】

毎回資料を配付する。

授業中の私語・携帯電話は厳禁である。遵守できない者には退席を求めることがある。

【学修の準備】

まずはテレビのニュースの視聴や新聞を読み、社会への関心を持つよう心掛けること。テレビや新聞で報道されている出来事そのものが「法」を学ぶ上での教材となるためである。その出来事がどのように法律と関係しているのか、学生自ら考えることを心掛けること（60分）。

復習として、教科書・講義ノート・プリントを活用し、学習を深めること（100分）。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

心の問題にかかわる職業人として必要な幅広い教養と専門的知識を修得するという、心理科学部のディプロマ・ポリシーに適合している。